

## デイリー・ジーザス・ニュース #303

金曜日...苦悩と贖罪の日

### ゲッセマネの園でのイエスの逮捕

奇跡34：ユダがキスでイエスを裏切る；イエスがマルコスを癒す

マタイ27.48-54 ( 並行聖書：マルコ14.43-47、ルカ22.48-51、ヨハネ18.10-12 )

=====

48 <sup>MT</sup>さて、裏切り者は彼らと合図を交わしていた。「私が接吻するのがその人だ。彼を捕らえて、警備の下に連れて行け。」

49 ユダはすぐにイエスのもとに行き、「ラビ、こんにちは！」と言いました。

「彼はイエスに接吻しようとして近づいたが、イエスは彼に言われた。」*ユダよ、あなたは接吻によって人の子を裏切るのか。」*

<sup>MT</sup>ユダは彼にキスをしました。

50 イエスは言われた。「*友よ、あなたが来た目的を果たせ。*」すると、男たちが進み出て、イエスを捕らえ、逮捕した。

51 そのとき、イエスの仲間の一人、シモン・ペテロが手を伸ばして剣を抜き、大祭司の僕に切りかかり、その右の耳を切り落とした。その僕の名はマルコスであった。

52 イエスはペテロに、「*もうそんなことはやめなさい*」と命じ、彼の耳に触れて癒された。

イエスはペテロに言いました。「*剣をもとの所に納めなさい。剣を抜く者は皆、剣で死ぬのです。*」 53 *「父がわたしに与えてくださった杯を、わたしは飲まないはずがありませんか。それとも、わたしが父に呼び求めれば、父はただちに十二軍団以上の天使をわたしのために遣わして下さることができないと思うのか。」*

54 *「しかし、そうすると、このように起こらなければならないと述べている聖書の言葉は、どのようにして成就するのでしょうか？」*

=====

# THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

## コンテキストダイジェスト

位置	オリーブ山のゲッセマネの園
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第8段階: 受難週
	E. 金曜日: 苦悩と贖罪の日
	ゲッセマネの園でのイエスの逮捕
タイトル	ユダはキスでイエスを裏切る; イエスはマルコスを癒す

今日の朗読は、イエスとイスカリオテのユダの行動を対比しています。まずユダについて考えてみましょう。ここでの彼の性格は、せいぜい哀れとしか言いようがありません。

昨日、群衆がゲッセマネにやって来てイエスを逮捕しようとした時、イエスは自ら進んで身元を明かし、弟子たちの釈放を要求したことを学びました。ですから、ユダがキスでイエスを裏切るという計画を実行する必要はありませんでした。イエスはユダにその屈辱を与えなかったのです。

しかし、ユダは厚かましくも突き進んだ。彼は混乱し、あのキスをするために銀貨30枚を受け取った指導者たちへの義務を果たさなければならないという衝動に駆られていた。イエス自身よりも、イエスを殺害した者たち、そして金銭によって生じた責任に忠実だった。イエスが教えたように、「**神と金との両方に仕えることはできない**」。ユダは自らの選択を選んだのだ。

ユダがイエスに近づくと、イエスはキスをして主を裏切るつもりかと尋ねました。イエスは、ユダが恐ろしい状況をさらに悪化させないように、彼を守ろうとしたのです。ユダが敬意と愛情の印としてイエスにキスをした後、主はユダを「友」と呼びました。これはどういう意味だったのでしょうか。

愛は真実を喜び、真実を語ります。ユダはイエスを接吻によって裏切った時、もはや友ではありませんでした。それでもイエスはどのように彼を「友」と呼ぶことができたのでしょうか。別れの説教において、イエスは弟子たちを単なる僕ではなく「友」と呼んでいました（ヨハネ15:14-16）。ヨハネ15章では、「友」という言葉に「相互の愛」の語源に基づいた言葉を用いました。

園でイエスがユダを「友」と呼んだ時、彼は別の言葉を用いました。それは「仲間」、つまり他者に付き添う者という意味です。イエスはユダに、彼がずっと昔にイエスに従い、弟子としてどこへでも同行するよう招かれたことを思い出させようとしたのです。師と弟子、そして主と召使いの関係で共に過ごした長い時間を考えると、裏切りはイエスにとって重大な罪でした。少なくとも、イエスはユダの忠誠に値する存在でした。

この胸が張り裂けるような場面には、ユダに対するイエスの愛と憐れみが光り輝いています。裏切られることと、何千時間も共に過ごし、完璧な愛以外何もしてこなかった人に裏切られることは、全く別のことです。しかし、イエスはすべてを冷静に受け止めました。これらすべてを預言した聖書の言葉は、必ず成就するはずでした。

イエスの愛と慈悲は、大祭司の僕マルコスを癒したことに輝きを放ちました。マルコスは後にサンヘドリンを率いてローマ人の手による十字架刑の判決を下すことになります。これはイエスの宣教における最後の癒しの奇跡であり、敵に差し出された純粋な恵みでした。

イエスが逮捕された時の性格と振る舞い、そして「友」ユダや群衆となってイエスに敵対する敵たちから受けた扱い方との対比は、三位一体の神の性質と罪深い人間性の違いを表しています。それはイエスが祈った通り、神の栄光の啓示でした。

応用：

*あなたを愛すべき人があなたに背を向けたとき、あなたはどうしますか？あなたは彼らを一条件に愛し、友人として接しますか？*

*たとえ彼らがあなたを破滅させようとしているときでも、あなたは彼らの最善の利益のために話し、行動しますか？*

これは私たち一人ひとりにとってのイエスの模範です。イエスは私たちが敵であった時にも愛してくださったので、私たちは今日、赦され、救われています。そして今、イエスは私たちに「行って、同じようにしなさい」と告げておられます。

*今日、あなたが無条件に愛する必要があるのは誰ですか？どうやってそれを実現したいですか？*